

平成22年度 学校評価職員アンケート集計（職員）

4：よくあてはまる 3：あてはまる 2：どちらともいえない 1：あてはまらない

内容		数値 (%)				比較 (上…H21の4・3 下…H22の4・3)
		H21		H22		
		4・3	2・1	4・3	2・1	
教務関係	1 本校の教育課程について、教職員で日常的によく話し合っている。	53	47	85	15	
	2 各年度の教育計画の作成に当たり、教職員でよく話し合っている。	61	39	64	36	
	3 教育課程の編成にあたっては学習指導要領の趣旨が生かされている。	76	24	68	32	
	4 教育活動全般にわたって評価を行い、次年度の計画に生かしている。	82	18	75	25	
	5 本校は教育活動全般にわたり、生徒や保護者の希望によく応えている。	79	21	82	18	
	6 年間の学習指導計画について、各教科でよく話し合っている。	76	24	54	46	
	7 指導内容について、関連する教科とよく話し合い連携をとっている。	62	38	46	54	
	8 思考力を重視した問題解決的学習方法を取り入れている。	63	37	50	50	
	9 生徒の実態を踏まえ参加・体験型学習を行うなど指導方法の工夫・改善を行っている。	76	24	68	32	
	10 グループ学習等を行うなど、学習形態の工夫・改善を行っている。	66	34	50	50	
	11 生徒の希望を生かした個人選択に基づく科目の選択履修を実施している	76	24	82	18	
	12 到達度の低い生徒に対しての学習指導を偏に応じ、工夫して行っている	49	51	89	11	
	13 学習意欲の高い生徒に対する学習指導を偏に応じ、工夫して行っている	84	16	86	14	
	14 評価方法及びその在り方について、学年や教科などでよく話し合う。	81	19	64	36	
教育相談	15 生徒の問題行動が発生したとき組織的に対応できる体制が整っている。	86	14	89	11	
	16 様々な問題行動の防止のため早期指導に学校全体で取り組んでいる。	73	27	89	11	
	17 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外でも相談できる。	70	30	82	18	
生徒指導	18 生徒指導において、家庭との緊密な連携ができています。	95	5	96	4	
	19 生徒指導において、関連諸機関との緊密な連携ができています。	78	22	93	7	
	20 現在の校則が生徒の実態や人権尊重の立場から適切か否か生徒と教師の間で話し合う機会がある。	81	19	68	32	
	21 生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう学年に応じた系統的な進路指導を行っている。	71	29	86	14	
	22 生徒一人一人が興味、関心、適性に応じて進路選択ができるようきめ細かい情報提供を行っている。	79	21	89	11	
	23 生徒が生き生きと学ぶことができる学級づくりのため学校全体で取り組んでいる。	76	24	79	21	
	24 学校行事が生徒にとって魅力あるものとするための工夫改善を行っている。	58	42	86	14	
	25 生徒会活動において、生徒が民主的手続きを経て主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	92	8	79	21	
	26 生徒が生命の大切さや社会ルールを身につけることができるように年間指導計画に基づき、情操教育を継続的に行っている。	79	21	75	25	
	27 教育活動において、奉仕等の体験学習やボランティア活動が活発に行われている。	79	21	86	14	
	28 環境・国際理解・福祉ボランティアなどの新しい教育課題を教育活動に取り入れている。	89	11	71	29	
運営	29 教育活動において、体罰やセクシャル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢のもとづく生徒指導が行われている。	89	11	89	11	
	30 校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている	58	42	86	14	
	31 学校の運営に校長・教頭のリーダーシップが発揮されている。	87	13	79	21	
	32 学校運営に教職員の意見が反映されている。	82	18	57	43	
	33 教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	74	26	32	68	
34 各課・科・学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。	76	24	61	39		

運 営	35	職員会議をはじめ各種会議が、情報交換と課題検討解決の場として有効に機能している。	79	21	50	50	
	36	各種会議の結果が教育活動や学校運営に有効に生かされている。	66	34	46	54	
	37	教職員間の相互理解が十分になされ、信頼関係に基づいた教育活動がなされている。	84	16	36	64	
	38	日々の問題意識や悩みについて気軽に相談できる人間関係ができています。	63	37	50	50	
	39	本校では、教職員の服務規律への自覚が高い。	76	24	82	18	
	40	事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう役割分担が明確化されている。	95	5	83	17	
	41	本校では、生徒の学習と生活の場として、ゆとりと潤いのある環境が整備されている。	89	11	54	46	
	42	本校では、清掃が行き届いている。	68	32	68	32	
	43	施設・設備の拡充は、長期的見通しに立って計画されている。	47	53	43	57	
	44	施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。	58	42	71	29	
	45	各教科の備品や教材・教具が十分に活用されている。	76	24	61	39	
	46	コンピュータ等の情報機器が教育活動の場で有効に活用されている。	71	29	79	21	
	47	校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている。	66	34	32	68	
	48	校内研修は教育実践に役立つような内容となっている。	68	32	43	57	
	49	本校では、他の教職員の授業を見学できる機会がよくある。	87	13	43	57	
	50	教職員間で授業方法等について検討する機会を積極的にもっている。	87	13	32	68	
	51	本校では外部諸研修会等に積極的に参加できる体制がとられている。	47	53	79	21	
	52	研修・研究に参加した成果を他の教職員に伝達できる機会を設けている。	66	34	43	57	
	53	公文書の收受、発送、保管に対する管理が十分なされている。	47	53	68	32	
	54	指導要録等の記入、点検が年度内に適正に行われている。	74	26	46	54	
55	生徒の個人情報に関する管理システムが確立している。	68	32	79	21		
56	教育活動に必要な情報を積極的に収集し生徒・保護者への周知に努めている。	79	21	75	25		
57	教職員はPTA活動によく参加している。	58	42	68	32		
58	近隣の小・中学校や高等学校との校種間連携の機会を設けている。	63	37	93	7		
図 書	59	生徒が図書館を利用しやすいよう工夫を行っている。	32	68	79	21	
	60	生徒が情報機器にふれる機会が充分確保されている。	34	66	79	21	